

“ISOWOOL” takes off

イソライトのセラミックファイバー新登録商標 イソウール (ISOWOOL) のご案内

日頃はイソライト製品をご愛顧いただきまして大変ありがとうございます。

さて、イソライト工業株式会社は1927年創業以来、耐火断熱れんが即ち「イソライトれんが」とセラミックファイバー「カオウール」を主力製品として、各種高熱工業における熱経済に貢献してまいりました。これまでの歴史のなかで弊社は、世界のお客様からのご要望にお応えすべく、海外に生産および販売拠点を開設し、高品質の製品と木目細かな営業サービスの提供に努力してまいりました。

すなわち製造拠点としましては1987年にIER(台湾)で、1989年にICF(マレーシア)でそれぞれセラミックファイバーの製造を開始し、更に1991年には同じくマレーシアのIIFで耐火断熱れんがの製造を開始しました。

一方営業部門ではASEAN諸国への販売活動とエンジニアリングサービスのため1983年にIFS(シンガポール)を開設し、次いで1989年には市場拡大が有望視される韓国ソウル特別市にソウル支店を設立し販売活動を開始しました。また続いて1992年には台湾での営業拠点としてIFTを開設し、IER(台湾)にて製造のセラミックファイバー製品と日本およびIIF(マレーシア)製造の「イソライトれんが」の販売に当たっております。

このようにイソライトおよびそのグループ企業は日本のみならずアジア太平洋地域にも耐火断熱材の製造拠点と販売のネットワークをつくり、更に広く世界の市場を目指して努力してまいりました。

お陰様で弊社は11月25日をもちまして、創立70周年を迎えることになりました。これもひとえに皆様方の日頃のご愛顧の賜物と感謝いたしております。

弊社といたしましては、これを契機にセラミックファイバーの日本並びに国際市場における製品のアイデンティティー化と競争力の一層の強化をはかるため、二つの方策をとることにいたしましたのでご案内申し上げます。

1)登録商標をカオウールから弊社独自の名称イソウール(ISOWOOL)に変更

2)中国蘇州市にセラミックファイバー製造の合併会社を設立

かえりみますに、弊社がセラミックファイバーをカオウール(KAOWOOL)の登録商標で日本の市場へ紹介し、また日本で製造を始めてから30余年が経過します。この登録商標はB&W社(現TCI社)が所有し来年7月にライセンス契約の期日がまいりますので、弊社としましては、本年10月1日より日本および海外市場共にイソライト独自の登録商標イソウール(ISOWOOL)に変更することにいたしました。今後も更に品質向上を目指して努力いたしますので引き続き弊社製品をご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、このほど新しく中国蘇州市にセラミックファイバーの生産工場建設に着手いたしましたことを併せてご案内申し上げます。当工場は来年6月操業開始を目指しております。今後とも皆様方のご要望にお応えすべく万全の努力をいたしますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

1997年 9月